

明治大学校友会 東京都多摩支部  
多摩市地域支部  
紫紺



(第16号)



発行 明治大学校友会東京都多摩支部多摩市地域支部 発行日 令和4年2月1日  
発行人 中山 雅雄 住所 多摩市連光寺6-27-11 Tel/Fax 042-339-1681

支部長新年のご挨拶

〓新年を迎えて〓

支部長 中山 雅雄  
(S 37法)



会員の皆様には、健やかに新春を迎えられましたこと心よりお慶び申し上げます。

一昨年から世界的規模で猛威を振るっており、コロナウイルスは日本でも変異ウイルスオミクロンによる感染拡大が未曾有の事態を引き起こしております。国を挙げ懸念な拡大防止を行っておりますが予断を許さない事態にあります。一日も

早く終息することを願っております。このような事態の中にあつて校友会活動は、先ず感染防止を優先させるため、定時総会に始まり役員会、各部門活動はもとより校友の皆さまとの諸活動を通しての親睦は一切実施できていない状況にあります。何よりもコロナ感染が止み、校友の皆さんと共に校友活動を実行できる日が一日も早く訪れることを心から願っております。

このような異常事態の状況の中にあつて、この一年間の校友活動でも重要な活動の第一にあげますのは、来年の四月をもって当支部が設立10年を迎えるための記念行事のこととであります。当支部が生まれて10年、設立からの諸活動を振り返って、校友会の目的でもある校友間の親睦がなされ、活動が活発に行われているかをしっかりと見定め、次のステップに繋ぐ大切な年であります。昨年の暮れに「設立10周年記念事業委員会」を立ち上げ、記念事業内容を詰め最終的な実行内容をまとめ、具体的行事活動の実行計画を策定することといたしております。現会員数が100名に届かない支部ではありますが、小規模ながら校友の皆様楽しく喜んでいただける充実した記念事業にいたしたく考えてお

ります。

第二は、当支部の会員数の拡大を大きな目標にいたしたいと考えます。多摩市には校友が1100余名在住されており、現在の当支部の会員数は、残念ながら80数名であります。一昨年には会員数拡大のための戸別訪問による会員入会案内を卒年の範囲を絞って行いましたが、会員数拡大には至りませんでした。今年度も案内方法を十分に研究し、会員の拡大に努めていきたく存じますが、校友に喜ばれ親睦の輪が大きくなるよう努めたいと存じます。

第三は校友を通じての地域貢献活動です。これも一昨年のことですが、明治大学が誇るマンドリン倶楽部OB会による演奏会を、パルテノン多摩の小ホールにおいて開催し満席となり地域の皆さんに大変喜んでいただきました。明治大学にマンクラありの大盛況でした。地域貢献活動を計画し継続していきたいと考えます。

以上コロナ禍で実行・実施上に制約が考えられますが、明治大学校友会多摩市地域支部の発展と校友会の使命を成し遂げたいと存じます。校友の皆様のご協力とご参加を切にお願ひ申し上げ、新年のご挨拶といたします。

会員活動便り

○宮城県石巻市「大川小学校」を訪問して

高山千佳歳（S 59 政経）

福島県福島市に赴任してまもなく2年になります。福島では、東日本大震災による津波と放射能漏れ事故による福島県の太平洋沿岸地域15市町村で事業を行おうとする人呼び返し、またその事業を定着させる業務に携わっています。2年の間に徐々に事業者が増えていますが、まだまだ十分なものではありません。

この事業はまだ道半ばですが、一方で休みなどを使って東北地方めぐっています。

その中で、昨秋、11年前の東日本大震災で痛ましい被害のあった宮城県石巻市の「大川小学校」を訪問しました。ここでの出来事は、皆様もよくご存知のことと思います。

現在、校舎は震災遺構として保存されています。ここで全校児童108名中、欠席や親などに引渡された児童以外の74名が犠牲になりました。教職員10名のほか、迎えにきた親、学校に避難してきた近隣の住

民も犠牲になっています。大川小学校のすぐそばを北上川が流れ、ここを津波が通り、学校近くの標高7mに満たない三角地帯に避難する途中で児童たちは津波に飲み込まれました。

学校の裏山に逃げようという声もあつたようですが、雪で足場が悪かつたことや、小さな児童も多く、また私有地であることで躊躇する意見が強く、三角地帯を選択したとのことです。

現地に行くと、裏山に津波が到達した最高点に印がありますが、いろいろな制約があつたのでしようが、その地点は山に逃げれば間違いなく助かつたであろうと思わせる高さでした。児童の親御さんはいまもあの日ここに逃げてくれていればと、耐え難い寂寥感、喪失感に苛まれるることです。

訪れたのは平日の夕方であつたため他に訪れる人もなく、あの日ここで74名もの児童を含む多くの方々が亡くなったという事実が、静寂な佇まいの中で胸に迫ってきます。

絶えずいわれることですが、生きていけば、高校生、大学生、社会人になつていたであろう児童たちのことを考えると、やはり忘れてはならないものという感傷が湧いてきます。

津波に抜かれ廃墟となつた校舎や広い校庭には、児童たちが学び、遊んだ痕跡を数多く見付けることができます。いまも心に強く残る訪問となりました。

震災遺構大川小学校（宮城県石巻市金谷字葦島11）

<https://www.city.ishinonaki.lg.jp/okawa/index.html>



大川小学校の裏山(画像右に津波の到達点を示す看板が見える)



大川小学校

「なぜ」撮る必要があるのか？  
「どう」撮る必要があるのか？

写真講座シリーズ⑤

今村隆正（S 59 文）

東日本大震災から11年が経とうとしています。あの時、私は自分の車にありつたけの機材を積み込んで多摩市の自宅を出発しました。余震が続く中、寒さに凍えながら車中泊で現地を回りました。

多くの街が消失していました。女川1は街の中心地だったところですが。女川2、倒れるはずのなかつた鉄筋コンクリートのビルが基礎から倒壊していました。女川では多くの人が犠牲になりました。しかし、街から徒歩1〜2分の所に高台があるのです（女川3）。

南三陸町の写真は、ニュースで何度も報道された防災庁舎の写真です。最後まで避難を呼び掛けていた職員らが犠牲になってしまいました。仕事を投げ出しても、写真右奥に映っている杉林まで避難してくれていたらと思うと、悲しくてやりきれません。

仙台平野の写真は、海岸線から3





女川-3



南三陸町



女川-1



女川-2

km以上も離れた地点です。しかし、途中に高台もなければ高層ビルもなく、早目に避難しないと、どんなに全力で走っても津波の速さには勝てません。

桜の写真は、幹は津波で原形を留めないほどで、そして塩水にたつぷり浸かっってしまったのに、どこで命が繋がっているのか、瓦礫の下から綺麗な花を咲かせていました。

写真は、感情も大切ですが、被写体に対する知識があると撮り方も変わってきます。「なぜ」撮る必要があるのか? 「どう」撮る必要があるのか? 少し考えてみることも上達の早道になります。



仙台平野



瓦礫下の桜

TOPIX (新春の明大の活躍)

峯岸正己 (S 63 工)

○2022ラグビー大学選手権

1月9日(日)

国立競技場にてラグビー大学選手権決勝が行われました。関東対抗戦1位の帝京大と関東対抗戦3位の明治大との対戦。前半から帝京大の攻撃に苦戦。20対0でリードを許して折り返し。後半に入ると、明治大は後半9分にフッカーの田森選手がトライを決めて反撃開始しましたが、帝京大が26分にトライを奪って突き放しました。このリードを守り切った帝京大は、27対14で明治大に勝って、史上初の9連覇を果たした2018年以来、4大会ぶりの10回目の優勝を果たしました。前半から大差をつけられ、攻撃する糸

口もみつからないまま試合が終わってしまった大会、残念ながら帝京大のほうに優勢でした。

明大 14  
0 - 20  
14 - 7  
27 帝京大



攻める明治大

○第98回箱根駅伝

1月2日(日) ~ 1月3日(月)

東京箱根間往復大学駅伝競争が行われました

明治は往路で14位と出遅れ、巻き返しの走り及ばず5区を走って18位でフィニッシュ。

復路は、粘り強い走りで徐々に順位を上げて、7区富田が区間2位、10区橋本が区間4位の力走をみせて復路順位3位と健闘、総合で14位まで順位を押し上げました。

往路での走りが良ければシード返り咲きができたかもしれませんが、



久慈浜 (茨城県)  
中山雅雄 (S37 法)

趣味

水彩画を描くシリーズ⑬



各大学一斉に箱根路へ

来年のシード権獲得ならず、予選会からのスタートになりました。今年も戦国時代に突入。シード入れ替わりが激しくなってきました。



一切経山から鎌沼を望む  
(福島県)  
高山千佳歳 (S59 政経)



クロツラヘラサギ  
神奈川県(酒匂川)  
矢場岩男 (S43 商)



マッターホルン  
(スイス・イタリア国境)  
鶴田勇雄 (S37 法)

自慢の一葉 ⑬

会員の動静  
(順不同・敬称略)

新入会員

無し

退会者

浅沼紀雅(S36 法)

西川克子(S32 短法)

物故者

岩淵義郎(S31 政経)

土田 充(S33 法)

岩淵義郎氏が9月1日、土田充氏が1月12日逝去されました。衷心よりお悔やみ申し上げます。

会員数は81名(令和4年1月末現在)。会員相互の動静もお知らせ下さい。

編集後記

校友会活動全面停止のコロナ禍、校友会会報「紫紺」第16号がようやく発行出来ました。

記事・写真・絵画等を投稿してくだされた校友会の仲間に感謝申し上げます。

ワクチン接種が世界で7割すすめば、新型コロナウイルスは今年の6〜7月には終息するとのニュース。希望の光が見えてきました。

校友会の皆さんのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。(寺)

令和3年度(2021)会費のご入金ありがとうございます。\*ご入金を確認いたしました。

1	秋山 隆敬	26	菅井 美沙子	51	藤川 忠博
2	安中 彪	27	杉田 正男	52	藤川 道子
3	飯塚 貴哉	28	杉山 喬	53	藤原 輝雄
4	石坂 朝雄	29	鈴木 一巳	54	松澤 節夫
5	石場 和夫	30	須藤 忠志	55	萬井 洋一
6	石渡 敏夫	31	諏訪本 充弘	56	峯岸 正己
7	伊東 勝義	32	関 道定	57	村木 繁之
8	井上 泰輔	33	芹沢 壮光	58	茂木 有司
9	今村 隆正	34	平樂 直樹	59	森 和子
10	岩永 久佳	35	高山 千佳歳	60	安波 節生
11	岩淵 義郎	36	田所 利之	61	矢場 岩男
12	上春 貴	37	谷 幸雄	62	山口 和英
13	楳田 成美	38	鶴田 勇雄	63	山崎 直人
14	大倉 徹	39	寺島 忠昭		
15	岡 等	40	中川 政信		
16	加藤 邦男	41	仲野 道子		
17	菊池 武信	42	中山 雅雄		
18	木村 敏文	43	中山 厲介		
19	熊谷 和彦	44	鍋田 正直		
20	小金 忠男	45	西田 武文		
21	國分 篤	46	新田 孝		
22	坂井 靖三	47	野村 文夫		
23	榊 つきみ	48	萩原 利明		
24	坂口 直	49	浜崎 幸夫		
25	坂本 康彦	50	福地 登		



(五十音順・敬称略)

令和3年度会費納入者  
(令和4年1月末現在)

(行き違いの場合は、容赦ください)